

平成24年度 学校だより (NO. 492)



くぬぎ台小

愛川特別号

平成24年7月 6日刊
横浜市立くぬぎ台小学校

ホームページへようこそ! [くぬぎ台](#) → [検索](#) 7月3日までのお客様 = 13,382人



愛川、太陽と山と湖と友達と

校長 藤井芳樹

くぬぎ台小学校の子どもたちは、雨を自由にコントロールできるのでしょうか?そんな不思議な能力を秘めている気がする旅でした。決してかんかん照りにはせず、ぎりぎりのところで傘が無駄になるような天気を呼び寄せる力には驚いてしまいます。愛川はそんなことを思わせる二日間でした。

なんとといっても、印象に残っているのは高取山登山です。これは、子どもたちのインタビューからも分かるように、引率した私たちだけでなく子どもたちにとっても一番印象に残ったプログラムだったようです。

子どもたちは「達成感」という観点から強い自信をもつことのできた体験といえそうです。けれど、私たち引率者の視点は少し違います。子どもの順応する力・お互いがよいライバル関係となったときに生まれる1+1=2以上とい



う能力に感動してしまいました。

実は、恥ずかしながら登山で一番のお荷物は私自身かという思いで同伴しました。「最後になった子どもたちの担当でいいですよ。」という立場にしてもらっての登山でした。予想では、数人の子どもたちが遅れるだろうという判断のもとに対応策を考えていたのです。

高取山の登り始めは急勾配で、とてもとても厳しさが、私自身も彼らを励ましなが



りました。しかし、その急勾配を制覇した頃から立場が逆転しました。子どもたちのギャチェンジがう

まくいったという表現が一番合っていると思われるくらい、途中からは山登りを辛いものとせず楽しいものと感じ始めた様なのです。

登りの時には、「お腹が・・・」「足が・・・」といていた人たちが、歌を歌い・おしゃべりをし、登山を楽しめていました。

子どもたち自身も気づいていない、まだ知らぬ秘めたる力。私たちはその力を探し出し、それをさらに大きな結晶にすべく、教育活動を展開していきたいと思います。皆様のますますのご理解とご協力をお願いいたします。

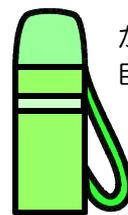


学校への水筒持参について

今年は、多少過ごしやすいいとはいえ、蒸し暑い日々がそろそろ始まりました。

本年度も、来週7月9日(月)から熱中症対策として水筒持参を自己責任の範囲で可能といたします。

詳細は、本日配布された学校からの印刷物でご確認ください。尚、食中毒防止の意味からも注意事項は必ずお守りください。



根性・負けん気

高取山登山は宮ヶ瀬ダムからスタート。始めから急勾配の上り坂が続きます。

当然、体力の差がでます。でも、自分なりにそれぞれががんばりました。誰一人として、遅れず個人に合った根性を見せ、自分に負けない気持ちをもつことができました。



飯だぜえ！

お疲れ！
少し休んで
また出発だ！



こんなに
登ってきたの！
達成感！

ヒル除けの
スプレーを
お願いします。



山が、
俺たちを
呼んでるぜ！



校長先生、
展望台が高いから、
怖くて登れないって。
もったいない。



協力・感謝

野外で自炊をしました。メニューは、カレーとご飯に福神漬けです。それぞれの生活班に、引率の先生がついて指導を受けながら取り組みました。

班で担当を分担し、協力しておいしくて個性あふれるカレーに仕上げました。感謝と共に完食多発！

① けがしないように。



② 肉が先か野菜が先か？



③ 家庭科の学習を生かして！



④ 上手に点火、準備OK！



⑤ 先生、お手伝いすみません。



⑥ いいよ配膳。出来具合は？

友情・仲間

裸のつきあい。一緒にお風呂に入り、一緒に寝る。一緒に遊ぶ。一緒に食べる。一緒にはねる(?)。共に生活することで、今まで見えなかった友の優しさ・弱さが見えてきたのかもしれませんが。友情を深め、仲間の輪を広げるための素晴らしい時間を過ごすことができました。

食べて、



遊んで、



跳んで、



そとで、

番外編 (緑の中で)

二日目、愛川公園です。大きな樹の下で、みんな一緒に昼食です。いつの日か、くぬぎっ子たちもこんな大きな樹になって欲しいですね。



4年生・5年生、全員のリュックです。こうしてみると、人数が少ないのだと実感しますね。でも、精鋭集団です。

くぬぎっ子又ケツ子 (3)

毎水曜日には、登校見守りの場所を変えています。その日は、西原住宅近くでくぬぎっ子たちと朝の挨拶を交わしていました。西原住宅付近に立つ時には、密かな楽しみがあります。中学生になったくぬぎっ子たちに会えるのです。

その日出会った中学2年生の女子の、おはようの挨拶の後の一言、「あれ、校長先生って、そんなに小さかったっけ?」

悔しくなんかありません。うれしいです! 子どもたちの身も心も成長した証です。

いつの日か、あなたの子どもから、「おかあさん(おとうさん)ってそんなに小さかったっけ?」と言われても怒らないで。

そんな時、あなたの子どもの心には「こんなに大きな私に育ててくれてありがとう!」の感謝の気持ちがあるのですよ。

くぬぎっ子又ケツ子 (4)

もうすぐ夏休み、くぬぎっ子たちの優しい世話に答えて、鉢や花壇の植物たちも元気よく育っています。くぬぎっ子たちの愛情たっぷりの水やりのようすを報告します。

2年生の優しい男子のお話です。1年生や2年生は、本当に自分の鉢を大切にしています。自分のペットボトルでお水をあげる人、学校のじょうろであげる人、様々です。その優しい男の子は、学校のじょうろを使う派です。ある日、その人はじょうろが自分の番になるのを待てなかったようです。水道から両手で水をすくっては、何回も何回も自分の鉢のところまで走って行きます。一回のお水の量はちょっとばかりしか入らなくても、愛情の量はたっぷり入る自分だけのじょうろですね。

ぬぎっ子ちよっぴインタビュー (愛川編)

①一番、思い出に残っているのは？ ベスト3

高取山登山・キャンプファイヤー・カレー作り

他には、藍染め・ヒルのこと・部屋で過ごしたこと・バスレク・お弁当・愛川公園・アイス等

②愛川体験学習で学んだことは？

一生懸命にやること・協力と努力・次に使う人のためのそうじ・命の大切さ・人の話を聞く・家族と過ごすことと友達と過ごすことの違い・本当の協力は楽しいこと・藍染めの仕組み・カレーの作り方・自然が心地よいこと・料理づくりが大変なこと・山登りの厳しさ(つらさ)・絆・助け合い・協力すれば何でも出来る などなど。

③今だから話せる「内緒」のこと！

お風呂で飛び込んだ！ 火の神は校長先生だ！（と思う…。） キャンプファイヤーの最後、校長先生の話で泣いてしまった！ 高取山登山がいやで、逆してる坊主を作ろうと思ったけど実際の写真を見てやめた！ 夜遅くに寝た！ 内緒はなし！ 夜遅くまで女子トークをしていた！ 朝、起きたとき自分の家だと思って「ママ～！」って言おうとしてしまった！ お風呂で、ぬらしたらいけないのに頭がぬれた（というより、ぬらした）！ 帰りのバスの中で眠くても寝たくないの、目が変わった。部屋で枕投げをしちゃいました！ ひとつのベッドに二人でねた！ そうじをしないで隠れてた！ お風呂に入るとき、足と顔を洗うのを忘れた！ お風呂が恥ずかしかった！ 僕が恐がりだと知って、友達が隣に寝てくれた！ お弁当のミニマトを何度も何度ももらった！

④愛川体験学習でお世話になった人に感謝を伝えよう！

◎釘田先生＝手をけがしたとき絆創膏をくれて、ありがとうございます。

◎お母さん＝体験学習の用意をしてくれて、ありがとうございます。

◎5年生へ＝私たちに優しくしてくれて、ありがとうございます。

◎自分の体＝よくあんな急で大きな山を登ってくれたね、ありがとう。

◎友達(個人名)＝一緒に寝てくれて、ありがとう。キャンプファイヤーを盛り上げてくれて、ありがとう。寝るときにふとんをかけてくれて、ありがとう。リーダーの手助けをしてくれて、ありがとう。トランプを貸してくれて、ありがとう。次の行動を教えてください、ありがとう。楽しく笑わせてくれて、ありがとう。靴に付いていたヒルを取ってくれて、ありがとう。スポンジを貸してくれて、ありがとう。髪の毛を結んでくれて、ありがとう。ベッドから落ちたとき、すぐに助けを呼んでくれて、ありがとう。山登りで滑ったとき、手を貸してくれて、ありがとう。

◎弘部先生＝道具を貸してくれて、ありがとうございました。

◎愛川の皆さん＝いろいろな事を教えてくれて、ありがとうございました。

◎バスの運転士さん＝バスを運転してくれて、ありがとうございます。

◎付添の先生方＝いろいろな事をしてくれて、ありがとうございました。

◎宮城先生(AT)＝しおりをかしてくれて、ありがとうございました。

◎村の人＝「オッケーですか。」を教えてください、ありがとうございました。

◎行動班の人たち＝みんなのペースを大切にしてくれて、ありがとう。

